

「理系科目の試験対策法」

慶應義塾大学医学部 岡野 雄士

理系科目の勉強の際に実際にやっていた勉強法を紹介したいと思います。

1. 計算系の科目について

・用意するもの 問題集(過去問なども可)、タイマー、コピー用紙(沢山)、修正テープ、色ペン

[やり方]

- 1) 試験範囲の問題集(または過去問)のコピーを取って、適宜修正テープで消すなどして、解答用紙と模範解答を作成します。(解答用紙に直接書き込めるようにした場合はそれをたくさんコピーしておきます)
- 2) 時間を測って最初から最後まで問題をコピー用紙に解きます。このとき、コピー用紙は何枚使ってもいいので、できるだけ途中式や考え方を紙面に残すようにします。
- 3) 解き終わったら時間を解答用紙に記録して、すぐに色ペンを使って答え合わせをします。
間違えた問題については、途中式をよく見てどこで間違えたのかを把握して、間違えた箇所から正解へと導くために必要な計算過程を色ペンで残します。何か特殊な考え方が必要だった場合はそのようにコメントを残します。
- 4) 答え合わせが終わった直後にまた同じ問題で2), 3)を繰り返します。自分はだいたい制限時間の3分の1の時間で満点が取れるまで繰り返すと、本番でも安定して高得点が取れていました。

2. 暗記系の科目について

・用意するもの 資料全て(教科書・板書・資料集など)、コピー用紙(沢山)、黒+1色のボールペン

[やり方]

- 1) 試験範囲について手元にある全ての資料の情報をなるべく簡潔にまとめます。

テストに出そうなことを**強調色**で、それ以外のことを黒で書きます。

このとき、強調した箇所のどこが空欄になっても埋められるようにしましょう。

例) 「ナポレオン」は「エルバ島」を脱出して復位するが、「ワーテルローの戦い」で「イギリスとプロイセンの連合軍」に敗れた(「百日天下」) 「」・・・**強調箇所**

- 2) 作成したまとめを音読しながら、別のコピー用紙に強調した箇所を書き取っていく作業を繰り返します。

- 3) 2)を何回か繰り返した後、まとめを見ずに同じことができるかを繰り返します。

まとめを横に置いておいてその都度確認できるようにしてやると間違っている箇所の確認がすぐできます。

間違えた箇所はまとめに印を付けておくと間違えた箇所が分かります。

大事なのは自分を反復的にテストしてあげることだと思います。コピー用紙を使うと美しく書くことにあまり気を取られないのでお勧めです。勉強頑張ってください。